



いとう商店 絵／紙屋真子

あるばんのこと、いとう商店に、お客さんがきました

白いきものをきた、かみの長い女の人です

その人はゆびをさし、「これください」といいました

ころんと丸い あめのような 玉のブレスレット

ある日のこと、わかいお母さんが こまっていました

赤ちゃんが なきやまないので

そのとき、さあ——と、かぜがふくと……

キャッキヤとわらう赤ちゃんの手には、丸い玉がころん

こんなことがなんどもあり、だれかが、こういいました

「これはきっと、丹花の子育てうれしいのしわざだよ」

あめ屋だったいとう商店で あめをかい、子育てしたの

ブレスレットをあめとましがえ、今日もまた1つころん



いとう商店 文／大内雅代